

○地域就職氷河期世代支援加速化交付金事業 令和2年度実施状況

(山梨県)

	事業名	事業の概要	事業の実施状況	KPIの達成状況	事業の成果
1	就職氷河期世代支援事業 【不安定な就労状態にある方への支援】	①就職氷河期世代支援事業の周知 ②就職氷河期世代限定求人確保・周知	山梨日日新聞に特集ページとして就職氷河期世代求人や就職イベント情報等を年4回掲載するとともに、8月17日にはLINE広告を実施した。 ①R2.7.19 : 42社の就職氷河期世代求人を掲載 ②R2.8.16 : 30社の就職氷河期世代求人を掲載、同世代向けのセミナーや就職支援サイトの周知、山梨県就職氷河期世代安定雇用助成金の周知 ③R2.9.6 : 30社の就職氷河期世代求人を掲載、就職支援サイトの周知、山梨県就職氷河期世代安定雇用助成金の周知 ④R3.2.7 : 36社の就職氷河期世代求人を掲載、同世代が利用できる職業訓練や就職支援サイトの周知、山梨県就職氷河期世代安定雇用助成金の周知	【目標】 就職氷河期世代の求人確保数96件 【実績】 特集ページにおいて、延べ280件の求人掲載	求人掲載した企業に採用状況を確認したところ、7人の正規雇用につながった。
		③助成金による企業の定着への支援（厚生労働省「特定求職者雇用開発助成金（就職氷河期世代安定雇用実現コース）」への上乗せ）	国の特定求職者雇用開発助成金（就職氷河期世代安定雇用実現コース）に上乗せ支給する「山梨県就職氷河期世代安定雇用助成金」を創設した。 制度については、県ホームページ、山梨日日新聞の特集ページへの掲載、労働局や経済団体経由での企業周知を実施した。	【目標】 就職氷河期世代で失業状態又は非正規労働者が正規雇用労働者として雇用された人数60人 【実績】 国の助成金の利用者がなかったため、県の助成金利用もなし	助成金の利用なし
2	就職氷河期世代ひきこもり対策推進事業 【社会参加に向けた支援を必要とする方への支援】	①家族会、民間支援団体によるコンソーシアムとの連携によるLINE相談	家族会や民間支援団体で構成する「やまなしひきこもり支援コンソーシアム」によるLINE相談を令和2年9月から実施した。	【目標】 LINEの友だちユーザー数15人 【実績】 118人の友だちユーザー登録	電話や来所が難しい相談者に対する窓口をつくることにより、13人からの相談につながった。 LINE相談の継続や家族会の支援につながっている。
		②Webメディアによるひきこもり支援関連情報の発信	情報の入手しやすさを考慮したWebメディア（SNS広告、ディスプレイ広告）を活用して、国、県、市町村、民間支援団体の支援策や支援メニューの周知を実施した。 ①Yahoo!ディスプレイ広告 : 広告表示約633万回、クリック数17,212回 ②Twitter広告 : 広告表示約104万回、クリック数3,718回	【目標】 ひきこもり地域支援センターが実施する集団支援プログラムへの参加者数1人 【実績】 Web広告等の活用による支援情報を周知したことで、10人が参加	ひきこもり当事者や家族へ周知できていると考えられ、社会参加につながった。